

エボニック、セルフ・ドライビング・ラボが CPHI Pharma Award 2026 を受賞

2026 年 10 月 16 日

- ・ 「デジタルトランスフォーメーション」部門賞を受賞
- ・ 医薬品原薬 (API) のプロセス開発向けに AI、自動化、化学の専門知識を融合した自律型プラットフォーム
- ・ 産業用途の実績において、1 日あたり最大 100 回の自律実験と夜間での最適化を達成

本件に関するお問合せ
エボニック ジャパン(株)
コミュニケーションズ
TEL 03-5323-7353
FAX 03-5323-7399
E-mail: info-jp@evonik.com

エボニック インダストリーズ(本社:ドイツ、エッセン 以下「エボニック」)のセルフ・ドライビング・ラボ(自律型研究プラットフォーム)が、2026 年 CPHI Pharma Award の「デジタルトランスフォーメーション」部門賞を受賞しました。グローバルに展開されているこの受託開発製造(CDMO)サービスは、人工知能(AI)、自動化、化学の専門知識を統合したクローズドループ型プラットフォームで、医薬品原薬(API)のプロセス開発における実験の設計、実行、評価を自律的に行います。

ヘルスケア部ドラッグサブスタンス(医薬品原薬)製品ラインの責任者ダニエル・フリッカー(Daniel Fricker)は、「今回の CPHI アワード受賞は、セルフ・ドライビング・ラボが AI を製薬業界のお客様にとっての実用的な価値へと転換している点が評価されたものです。堅牢なプロセス条件をより迅速に確立し、初期段階からより多くの実験データを取得することで、当社はお客様が開発期間を短縮し、専門家のリソースをより効果的に活用し、よりの確なスケールアップの意思決定を行えるよう支援することができます」と述べています。

原薬(API)の製造プロセス開発は、開発パイプラインが、低分子からペプチドやオリゴヌクレオチドなどの新たなモダリティへと広がる中で、複雑化が進んでいます。従来のプロセス開発は、手作業による逐次的な実験に依存しており、数週間を要するうえ、得られる分析データも限定的で、専門家の判断に大きく委ねられています。また、プロセスが臨床試験の後期段階に進むと、コストや時間、リスクを増大させずに変更を実施することが、極めて困難になる場合もあります。

セルフ・ドライビング・ラボは、実験の設計や実行から、データの取得、分析、意思決定に至るまでのワークフローをデジタル化します。連続生産プラットフォーム、交換可能な 3D プリント製リアクター、ハイスループット実験、プロセス分析技術(PAT)、自動クロマトグラフィーが、安全な制御システムを介して接続されています。ベイズ最適化アルゴリズムが結果をリアルタイムで評価して次の実験を選択する一方、エボニックの AI 基盤ユーザーインターフェース

エボニック ジャパン 株式会社
〒163-0938
東京都新宿区西新宿 2-3-1
新宿モリス 12F

www.evonik.jp

「AIChemBuddy」により、研究者は透明性、追跡可能性を確保しながら、プロセスを適切に管理できます。

セルフ・ドライビング・ラボは、顧客が堅牢なプロセスをより迅速に開発し、再現性を向上させ、コストのかかる後期段階での変更が発生するリスクを低減できるよう支援します。本技術は、新規開発プロジェクトへの適用や、既存製品の最適化に向けて、世界中で導入が進められています。

毎年開催される CPHI PHARMA AWARDS は、業界を牽引する、革新的なイノベーターを表彰するために、2004 年に創設されました。今年の授賞式は、2026 年 10 月 6 日にミラノで開催された CPHI 医薬品見本市で行われました。エボニックは過去にも、「製剤(Finished Formulation)」部門で機能性カプセル「EUDRACAP® colon」、「サステナビリティ」部門で植物由来スクワレン「PhytoSquene®」、「パッケージング(医薬品一次包装) & ドラッグデリバリー」部門では、mRNA および核酸用のポリマーベースのドラッグデリバリーシステムが受賞しています。

エボニックのヘルスケア部は、医薬品原薬(API)の世界的な医薬品受託開発製造企業(CDMO)で、臨床開発から商業供給に至るまで、プロセス開発、スケールアップ、製造において顧客をサポートしています。同部は、医薬品原薬事業および中間体の受託開発製造に加え、経口・非経口医薬品向けの高度なドラッグデリバリーソリューション、脂質ベースの mRNA・遺伝子デリバリー技術、バイオ医薬品向け細胞培養ソリューションなど幅広いポートフォリオを展開しています。

さらに詳しい情報はこちらから:

[エボニックの医薬品原薬事業について](#)

エボニック インダストリーズについて

エボニックは、ドイツのエッセンに本社を置く世界的な化学企業です。革新的な強みと最先端の技術的専門知識を組み合わせ、化学のその先を目指しています。100カ国以上で事業を展開し、2025年度は141億ユーロの売上、19億ユーロの利益(調整後EBITDA)でした。業界をリードする力強いパフォーマーとして、オーダーメイドの製品とソリューションでお客様に決定的な競争優位性を提供します。「毎日の暮らしを豊かに」という同じ目的のもと、約31,000人の社員が働いています。

免責事項

このプレスリリースに記載されている見通しや期待、または将来の予測に関する記述は、既知または未知のリスクと不確実性を含む可能性があります。実際の結果や発展は事業環境の変化により異なる場合があります。エボニック インダストリーズ AG はこのリリースに含まれる見通し、期待、記述に関して、更新の義務を負いません。

(本プレスリリースは、2026 年 10 月 7 日付で本社から発行されたプレスリリースを翻訳しています。)